

# 大阪大学男女協働推進センター NEWS



01 2016AUTUMN

Center for Gender Equality Promotion



西尾章治郎 大阪大学総長

## Contents

- 01 大阪大学の未来を拓く「男女協働推進センター」発進！
- 02 村木厚子招へい教授による基調講演  
センター設立記念シンポジウム&セミナーを開催
- 03 女性研究者がさらに活躍するために  
文部科学省事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択！
- 04 センターの取組一覧  
皆が働きやすい環境づくりをめざして

大阪大学は「OU(Osaka University)ビジョン2021」に基づき、ダイバーシティ環境の実現に向けた取組を強化しています。

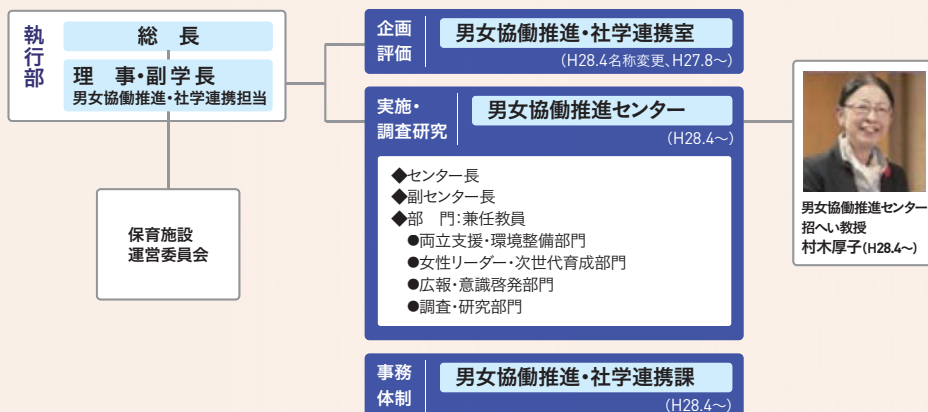
西尾章治郎総長は、2016年4月1日に以下の3つの柱からなる「男女協働推進アクションプラン」を全学的に推進することを宣言しました  
(大阪大学男女協働推進宣言)。

- 1 学修・研究・就業と家庭生活の  
両立支援の強化
- 2 女子学生・女性上位職  
拡大の加速化
- 3 ダイバーシティ環境実現に  
向けた構成員の意識改革

## Contents 01

### 大阪大学の未来を拓く「男女協働推進センター」発進！

大阪大学の男女協働推進実施体制



工藤眞由美  
理事・副学長  
男女協働推進センター長



2016年4月1日に男女協働推進センターを新設し、センター長には男女協働推進・社会学連携室長(理事・副学長)が就きました。

すべての研究科、附置研究所、センターから選出された兼任教員を中心に、強力かつ円滑に男女協働推進事業を推進します。



男女協働推進センター  
招へい教授  
村木厚子(H28.4～)

## 村木厚子招へい教授による基調講演 センター設立記念シンポジウム&セミナーを開催

センター設立を記念したこれらのシンポジウム・セミナーでは、本学招へい教授で元厚生労働事務次官の村木厚子氏による基調講演に続き、大阪大学の女性教員および女性職員によるパネルディスカッション等が行われ、「これからの働き方改革」をテーマに、大阪大学が目指す誰もが働きやすく働き甲斐のあるキャンパスの実現に向けて議論を深めました。

2016  
5/24  
開催

### 男女協働推進センター 設立記念シンポジウム

於 銀杏会館  
参加者245名



若手女性研究者によるパネルディスカッション

#### ✓ 危機感をもち、本気になれば変えられる：

##### 女性が活躍できる職場の共通点

- 1) トツが本気であること
- 2) 「働きやすさ」・「働き甲斐」という座標軸を2つ持つこと
- 3) 最初は「女性のため」の制度であっても、それを上手に「みんなのため」に広げること



村木厚子  
男女協働推進センター招へい教授

2016  
7/8  
開催

### 女性職員 キャリアデザインセミナー

於 銀杏会館  
参加者177名



女性職員によるパネルディスカッション

#### ✓ キャリアアップのための

##### 4つのアドバイス

- 1) 新しい仕事をやるチャンスは受けること
- 2) 昇進のオファーがあったら受けること
- 3) 文句を言ってもいい。  
でもやるべきことをやりながら言うこと
- 4) 女性同士の横のネットワークを作ること

センター設立記念シンポジウムの村木氏のご講演では、二人のお嬢様を育てながら厚生労働省の重要なポストを担当したご自身の経験と、豊富なデータに基づき、ユーモアを交えつつ具体的なアドバイスを数多く話されました。またパネルディスカッションでは、産前産後・育児休業取得に当たり研究の一時中断に必要な手続きや代替教員の手配を請負うコーディネーターの必要性、女性のライフステージを勘案したフェアな人事についての要望、女性教職員の数値目標を設定する意義、メンター制度導入の要否とその内容など、多岐にわたる議論がなされました。西尾総長はこの議論に最後まで丁寧に耳を傾けたうえで、諸課題の解決に向け、さまざまな情報を積極的に発信していくことを約束するとともに、「先行企業の事例など、本学に参考になることは積極的に導入したい。このような率直な生の声を聴く機会は大変貴重であり、とても参考になった」とコメントされました。

キャリアデザインセミナーでは、村木氏のご講演に続き、女性職員のパネラー5名がよりよい職場環境のための提案を行い、出席者から「話を聞いて励まされた」「自分も頑張ろうと思った」等、様々な感想が寄せられました。いずれの会も本学の執行部・部局長をはじめとした教職員、他大学の教職員、市民の方々など多数の参加者で満席となりました。また、シンポジウムは毎日新聞、読売新聞の記事にも取り上げられ、ダイバーシティの取組への注目の高さを窺わせました。男女協働推進センターは今後も様々な取組を通して、教育・研究・就業のあらゆる場面で男女協働の実現を図り、全構成員が個性を尊重され、自由で対等に活躍できるダイバーシティ環境の実現を目指していきます。

## 女性研究者がさらに活躍するために

### 文部科学省事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択！

この事業は、研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出につなげるため、女性研究者のライフイベントに配慮した研究環境の整備や、女性研究者の研究力向上のための取組、女性研究者の積極採用や上位職への積極登用にに向けた取組を、国が支援するものです。

大阪大学は代表機関として、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所とダイキン工業株式会社とともに、ダイバーシティ研究環境実現のために、①女性研究者の循環型育成、②両立支援、③働き方改革に取り組めます。本学に所属しながらの他機関研究者との共同研究や、他機関での研究(産学官クロス・アポイントメント、インターンシップ等)が活発化し、多様なロールモデルやキャリアパスに接することができます。このように3機関で連携することで、①女性研究者の循環型育成が可能です。②両立支援や③働き方改革のグッドプラクティスを3機関で共有します。3機関でスタートする取組は、3機関の拠点である北摂地域から、大阪地域、関西地域へと展開し、優れた女性研究者を育成し、女性研究者が活躍できるダイバーシティ研究環境の拡大を図ります。

#### 地域に生き世界に伸びる、女性研究者の持続的な育成と活躍推進に向けて



#### 2016年度に予定している取組

- |                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 女性教員の採用比率・在職比率・上位職比率向上のための部局支援</li> <li>✓ 女性教員をリーダーとする研究に対する研究費支援</li> <li>✓ 女性研究者に対する英語論文投稿支援</li> <li>✓ 産学官クロス・アポイントメント</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 男女協働推進に関する本部・部局連携セミナー開催</li> <li>✓ ダイバーシティ環境実現に向けた産学官連携による大阪大学シンポジウム</li> <li>✓ 女子学生対象のインターンシップ</li> <li>✓ メンター制度</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

男女協働推進センターホームページで順次お知らせいたします。

## センターの取組一覧

### 皆が働きやすい環境づくりをめざして

男女協働推進センターは、子育て・介護と仕事・研究の両立に日々奮闘する教職員の皆様を応援します。各取組の詳細は男女協働推進センターホームページ (<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp>)に掲載しております。ぜひ積極的にご活用ください!



#### 研究支援員制度

出産や育児、介護等の様々なライフイベントに直面し、研究時間を十分に確保できない研究者を支援するため、大学院修了者や学生等を「研究支援員」として雇用する制度です。

研究者に対して、研究と育児・介護等との両立を支援するだけでなく、研究者の支援を通じて実際の研究現場に触れ、研究活動に携わることで、研究支援員が自らの将来のイメージを思い描く契機とすることも目的としています。

#### プラスONE(短期教育研究支援)制度

出産・育児又は介護等に携わる研究者等への両立支援制度として、左記の「研究支援員制度」を実施していますが、そうした長期的支援に加え、短期的・集中的に支援が必要となった場合に、教育・研究活動の補助を行う学生等のアルバイト雇用経費を支援する制度も実施しています。支援期間は上限2ヵ月ですが、新たな申請事由が発生した場合は再度利用可能です。

#### 臨時託児室設置支援事業

大阪大学では、育児に携わっている教職員の参加の障壁を取り除くことを目的として、シンポジウムや研修会等の開催に当たって、臨時託児室を設置することを推奨しています。

その一環として、本学の教職員が参加する学会、研修会をはじめとする各種の会議等の開催に当たって設置される臨時託児室に対して、その設置に係る費用の補助を行っています。

#### 妊婦健診・サポート外来予約支援

医学部附属病院の産科婦人科にて、妊婦健診や外来診療を受けるための予約支援をしています。

#### 電動さく乳器レンタル

母乳でお子様を育てたい女性教職員のために、medela社製「Symphony(シンフォニー)」または「Swing(スイング)」をレンタルしています。  
※無料 ※台数に限りがあります

#### 病児・病後児保育室「あおぞら」



吹田キャンパスに設置されている「あおぞら」は全教職員が利用できる病児・病後児保育室です。病児・病後児保育室は、本学の教職員が病気のお子様を保育園等に預けることが困難な場合に、医学部附属病院小児科医師と連携し、看護師・保育士が常駐する保育室でお預かりします。

#### 一時預かり保育室「なかよし」「みらい」



「お迎えの時間だけど、今はまだ帰れない、もう少し頑張りたい」…教職員、学生の皆様のそんな気持ちを応援すべく、豊中キャンパスに保育室「なかよし」、箕面キャンパスに「みらい」を開室しています。ここではベビーシッターによる保育を受けることができます。利用料金の一部を大学が負担しますので、手頃な料金で利用できます。朝7時から夜9時まで、土日祝日も利用可能です。

#### ご活用ください!「次世代育成支援の手引き」

さらなる男女協働の実現を目指す大阪大学では、男性・女性を問わず全教職員が出産・育児にあたって取得できる特別休暇や育児休業等の制度についてまとめた「次世代育成支援の手引き」を作成し、男女協働推進センターホームページに掲載しています。ぜひダウンロードしてご一読ください。

<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/guide/>

## 大阪大学男女協働推進センターNEWS

No.1

2016年9月発行

編集・発行:大阪大学男女協働推進センター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1 TEL:06(6879)4405 FAX:06(6879)4406  
HP: <http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/>

「大阪大学 男女協働推進センターNEWS」へのご意見、お問い合わせにつきましては、企画部男女協働推進・社会学連携課男女協働支援係(E-mail:geoffice-gea@ml.office.osaka-u.ac.jp)までお寄せください。